

【刊夕】日三十二月四



原五稅郵 錢十五月一 錢貳金部一 價定
錢十五行一語字三十號五 料告廣
治文崎川人刷印人輯編行發
五三町橋長町平郡城石縣島福
番〇三六話電 社開新日每警常 所行發
社會式株刷印日每警常 所刷印

花祭りと釋尊傳

桐原英純

(八)

釋尊は初めに修定主義を採られた。史實として確實な典拠は見當りませんけれども、共釋尊は先づ雪山に久しい間禪定を修せられた。十九才出家とし、廿五才成道とすればそんなに長く雪山にゐられる月日はなかつたことになり、廿九才出家説とするも同様であつて、若し十九才出家、廿五才成道を事實とすればその前半は雪山の修行となり、後の六年が苦行となります。雪山とは今のヒマラヤ山のことであり、その山中には家も食物もあるわけではなく

三首

唐木登志

雪の下から顔を覗かせてゐる若芽に陽光の輝く性慾の未消する午後
殺して了へたい慾望をちつと押へて鷄を狙ふ猫を凝視する
ぎこちない感情を雪解けの真中にぶちまけたい病み上りだ

その前半が修定でありしとするも矢張り久しきに亘る一種の苦行であつたこと申すまでもありません。殊に後半の苦行時代は苦行中の苦行であつて、遂に一日に一麻一米にて生きるところまで修行せられたらなければ、遂にその目的の一点に到達することを得ず。或るときは遂に身心昏倒して假死の状態に陥り急使が故國の父王のもとに飛ぶと云ふ程の有様でありました。

斯くて釋尊は結局主義としての修業も、苦行も、解して到るの道でないとして、尼蓮禪河に水浴し村女の捧ぐる乳糜の供養を受けて、蘇生し、これより獨行し畢婆羅樹の下、石上に軟草を敷きて結伽趺坐し「若し正覺を、成せずんば此の座を

移轉

起たじ」と大誓願に住して瞑想に入られた、しれば修定主義そのものではなく手段として禪定の道を撰ばれたのであります。斯くて有らゆる悪魔を降伏して四十九日目の拂曉、星天の輝きを仰ぎつゝ、大悟徹底せられたのであります。その悟りが何でありしかと云ふことは悟ら凡夫に分らう筈なく、その悟境は悟つての後に源智すべき問題であり、書になつて今日に残されてゐる悟りの内容は十二因縁、四諦、八正道と云ふ説明に依つて私たちに示されてゐます

リヨ日一月五

めたの張擴舗店

(跡館旅住福元)り通大町田町平

ハシモトヤ系店

貸切は!

親しみあるサービス
を以つて知られたる
尼子タクシーへ

電話六四〇番

主任 澤正路

外科

X光線科
性病科
外科

入院隨意

平町田町

安齊外科醫院

電話四七五番

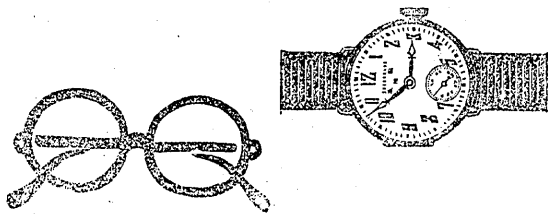
鳥料理

烹割

末廣

番一二四電

賣特段值安新



店計時堂幸精

九二路小槌搔町平

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

自由の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

費つて重寶
贈つて便利な

三井の
券品商

店服吳井三



日本人のおひげそりに一番適した
モーニング替刃

兩刃安全剃刀用優良品

日本人の様な剛い鬚にステキな切味を示す

刃の切味に當り外れがない

普通替刃の三倍以上保つ

價格至廉替刃中でも經濟第一位

錢五十四・包一枚五
錢十八・同枚十
錢二十各料送

元賣發
目丁五町平

店商屋釜

もで店物金貨雜方地
すまり居てし賣販

農耕馬に適すとて

磐城馬が好評

石城組合が奨励金を 交附して増殖

磐城産馬の特長は主務省で奨励しつゝある良馬と異なり現在の農耕馬は餘り大き過ぎて

農夫はこれを使用する困難ばかりか勞力の圓滑に至大の影響ありその上飼育がむづかしいが磐城産馬はこれと反對に体尺(成長)四尺六七寸で強健であり農耕馬には實用的で自然に整理統一されてあり年々九百乃至一千頭を生産し五六萬圓に及んでおるが隣縣茨城、栃木方面からの需要に應ずるに

不足を生じ北海道の野放馬を買ひ求むるもの多く石城産馬組合では最近これを痛切に感じ本年から奨励金を下附し従来の磐城産馬の増殖普及をなすこととなつた

郡農議員の 顔觸一新か

廿四五日頃 役員選挙を

石城郡内の各町村では玉川外三ヶ村を除き總代選挙を済ましたので来る廿四、五日頃總代會を開き役員選挙を行ふこととなつてゐるがすでに選挙を終つたのは平町外六ヶ村で郡農會議員の

近づいた折柄一層苦心の模様であるが各山本幹部は從業員の動搖を恐れ賃銀の値下げも徹首も行はないと稱してゐるが本月末もしくは五月初旬までの間に人件費の整理を行ふ外ない模様で成行きを注目されてゐる

人件費整理

鐵道納炭減で 苦境の各炭礦

石城の各炭礦では鐵道納炭の割五分値下げと契約高の一割減とにより何れも經營難を告げ夏枯れの季節もつて促進方を陳情した

米價の維持策に

專賣局設置意見

餘り問題が大き過ぎると 石城町村長支會手古づる

石城郡町村長支會では来る廿七、八兩日喜多方町に開かれる縣下町村長會議に提出すべき議案は左の二件と決定したが玉川村長から米價維持策としての專賣局設置

今日話

◆生魚の臭味を取る法 諸種の香味を配合して中和しますが、いづれにも向くのは生姜の絞り汁です、生姜を卸し晒布に包んで搾ると汁がとれますから適宜に煮汁になり、つけ焼汁になり、また焼く前にもちよつと漬けるなりして用ひます。

◆鮎の骨を軟かく煮る法 鮎は美味しい川魚ですが骨つばいので嫌はれます、これを骨まで軟かく煮て子供にも食べられるやうにするには、初め酒許りで弱火にかけて暫く煮るとよい、それから砂糖、醬油などで適宜味つけると、鮎の甘露煮が出来上ります。

水道の起債

湯本で陳情

湯本町上水道三十六萬圓の起債は先月末認可の指令あるはずだったが政變で延々となつて居るので二十二日町議若松孝平、比佐源次外一名が上京大藏省當局に向つて促進方を陳情した

磐城丸の 修理終る

來月早々 小笠原へ

縣水産指導船磐城丸は修理を終え二十一日海に浮び機械のすゑ付を行つてゐるが來月早々小笠原島方面に出動活躍する

平町人事

□ 死 亡

△三丁目一九山崎庄平(一七)

滿鮮土産談

川崎小鳥

◆奉天では、滿州に於ける支那側唯一の社會政策的施設「同善堂」を一應視く價値があると聞いて、自動車を買つて走らせた

娼妓等が此處へ逃げ込んで廢業の意志を明らかにすれば、樓主は如何様な事情があつても、一指に觸れる事が出来ない、また主知れぬ胤を宿して、身の振り方に窮した娘等の救ひに委せて、是れを收容し身二つに等々

◆門前には支那の若い巡査が銃を片手に握つて立つて居る、僕等一行三人即ち滿鐵の若林君と、安東新報支局の松本君と僕との三名が、此の門をくぐらうとすると、門番の此の巡査が「這入つてはならぬ」との仕草よろしく僕等を入れない、だん／＼聞いて見ると

◆若林君が、此の巡査を掴んで盛んに交渉したが、どうしても應じない、其内に野次馬も二三人立つた、若林君は、なほも上着の内匿しに手を入れて、紙入れをチヨイ／＼つまみながらペラ／＼と何か支那語をああやつる、巡査がニタ／＼と笑つたので、交渉成立かと思ひば、その手と首が、しきりに横に振られる事に依つて、これは駄目だとガツカリした

◆自動車に乗つてから聞く處に依れば、多少袖の下を献上するが見せて貰へぬかと交渉したのだつたさうだ、隨分人を食つた交渉だが、別に「侮辱するなッ」

も怒らずに、ニタ／＼と笑つた處を見ると、若し支那の呑氣な野次馬でも立つて居なかつたら、OK、OK、OK、で無事にバスが出来たかも知れぬ

◆見せぬもの見たいは人情、まして、支那側唯一の社會事業とあつてみれば、尙ほ更らな事だせめて外部からなりとも、自動車を除行させて、貧民に炊き出しする窓や、妊婦收容處が此の邊りと、「同善堂」の廻りをぐる／＼めぐりながら首を伸ばせば、周囲の瓦壁に一つの四角な凹みを見た

國産セイコー腕時計

抽籤附特賣!

- クローム側腕時計八圓半ヨリ
- 金側全十七圓半ヨリ
 - 一等 16形プラチナ側腕時計 市價 百十圓
 - 二等 16形十八金側時計 六十二圓
 - 三等 ○S製扇風機 同 二十六圓
 - 四等 ○S月光裏鏡目覺同五圓
 - 五等 ○S硝子置足付同 二圓
- 特賣期間 六年五月卅一日迄
- 其他貴金屬、時計新値下品澤山 修繕値下 勉強を生命と致します

鐵道省御用 金光堂時計店

隣に貸し家あります 平五 電話一九五

外科

内臓外科 醫學士 整形外科 松永憲一 外科一般

平新川町十九 木村病院

産婦人科院長從前通り診療

破産が決定

磐越の上告却下

平町磐越銀行では大審院に上告中だったが去る八日付をもって却下された旨破産管財人大嶺辯護士の許に通知あり破産確定したので平區裁判所に正式の通牒あり次第債権者集合その他の規定の手續きに入る筈

商人体の

鐵道自殺

身元が不明

石城郡泉村大字泉田子義一は二十二日午前五時頃植田間の鐵道線路を通行中泉地先にて腰部及び右足を轢断

偽農業教師が

巧に不正を働く

出鱈目な増収法を授け無智な農民を迷はせて

又もや

偽造銀貨を

平町で発見

平町三丁目乾物商阿部源造方で廿一日夕方賣溜金中から偽造五十錢銀貨一枚を發見して平署に届出でたが眞鍮に銀を鍍金して昭和四年の刻印ある頗る精巧なものである

四倉青年競走

倉町青年團では二十日午前九時から同町好見公園仁井

田浦間の一五〇〇米マラソン競走を行ったが優勝者左の如し
1 山野邊登2 鈴木清一3 新妻文一郎

硝子窓を破り

貴金屬窃盗

犯人嚴探中

石城郡平町才穂小路金馬商高橋幸太郎方のショーウィンドーの硝子を二十二日午前一時頃何者か破り時計指環その他數百圓を窃取逃走したが大仕掛な窃盗と睨み平署で犯人嚴探中

深刻な不況に

メーデー

振はぬらし

来る五月一日のメーデーも近づいたので石城の各無産黨はこれが準備に着手し平署でも警戒してゐるが深刻

比佐參與官を擔ぎ

陸軍に石炭賣込み

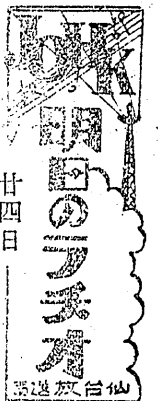
鐵道納税減額、送炭制限擴張等々折重なる經營難逼迫に悩む磐城地方の各炭礦では之が對策として、石炭生産費の軽減を圖る

借金證文を巻上げ

残金をどうしても拂はぬ

怒つて平署へ告訴

石城郡内郷村小島佐藤しまは同字の猪狩安久に大正十五年に現金二百圓を貸與したが安久は昨年三月までに前後三回に亘つて百五十圓を支拂ひ残五十圓に對しては證書を書替へてから支拂



明日の天気

今晩は南東の風 曇り時々晴れ明日は北東の風曇りの見込

今晚の部

- 後六、〇〇 (子供の時間) コドモの研究したお話三つ(仙臺市八幡小學校児童(五年)上法達男(五年)岩井ふみ(六年)小松鐵子(六年)三〇)英語講座「中等科」第一講の五エーエフトーマス
- 後七、〇〇 全國ニュース 河北新報社ニュース 象通報告知事項 番組豫告
- 後七、二五 講演「仙臺留ケ岡と釋迦堂」第二話 小倉博
- 後八、〇〇 連續講義「笹野三郎」第四席 大島伯鶴
- 後八、三〇 歌澤「春は賑ふ天の戸」歌澤寅佐久良三味線 歌澤寅佐久
- 後八、五〇 管絃樂とチェロ獨奏(東京府荏原町新交響樂團演奏所より中継)
- 後九、三〇 ニュース「日本棋院春季東西大手合戦(續十五)」
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告告知事項
- 前六、三〇 ラヂオ体操

明日の部

- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、〇五 經濟市況
- 前九、一〇 料理献立「就學兒童と献立の手輕な午後のオヤツ献立」小野玉枝 發表 日用品値段
- 前一一、〇〇 講演「肺結核の話その豫防」(一)醫學博士 糸川欽也
- 正午 時報
- 後〇、〇五 筆曲「松竹梅」筆 久本支智外
- 後〇、四〇 全國ニュース 河北新報社ニュース 象通報告知事項
- 後二、〇〇 家庭大學講座「獨逸文學、世界大戰前の文學」(二)文學博士 山岸光宣
- 後三、四〇 氣象通報
- 後四、〇〇 全國ニュース 河北新報社ニュース
- 後六、〇〇 (子供の時間) お話「岩崎城の戦」西脇正治
- 後六、三〇 英語講座「初等科」(六)岡倉由三郎
- 後七、〇〇 全國ニュース 氣象通報告知事項 番組豫告
- 後七、二五 講演「仙臺留ケ岡と釋迦堂」(終)小倉博
- 後八、〇〇 連續講義「笹野三郎」(終席)大島伯鶴
- 後八、三〇 映畫物語「南國太平記」長門武郎
- 後九、〇〇 脚本朗讀「白浪五人男」仙臺演藝同好會
- 後九、三〇 ニュース「日本棋院春季東西大手合戦(續十六)」
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告告知事項

溜池に

婦人の屍体

發狂して飛込

二十二日午前六時半頃石城郡内郷村綴字秋山一四七部落共有地内溜池に婦人の溺死體有るを同村字秋山渡邊重照が発見平署に届出た右は探査の結果同村字秋山五一長久保作治の妻イソ(三三)と稱し昨年から疾病にて精神に異常を呈し前記溜池に飛び込み溺死したものと判明した

罰金男が

ムコ養子に

潜伏中捕る

石城郡貝泊村字井出一圓井啓(三三)は以前賭博罪で平區裁判所から三十圓の罰金を言渡されたが其後行方を晦し湯本町上町富士屋裏五十嵐彦太郎方に婿養子となつて潜伏中を昨日平署に發見された

- セメント
- 壁用材料
- コルター
- ペンキ塗料
- 板ガラス

磐城セメント株式会社 代理店 西村屋藥舗 平町二丁目(電三)

